



SDE-3000D

DUAL DIGITAL DELAY

リファレンス・マニュアル

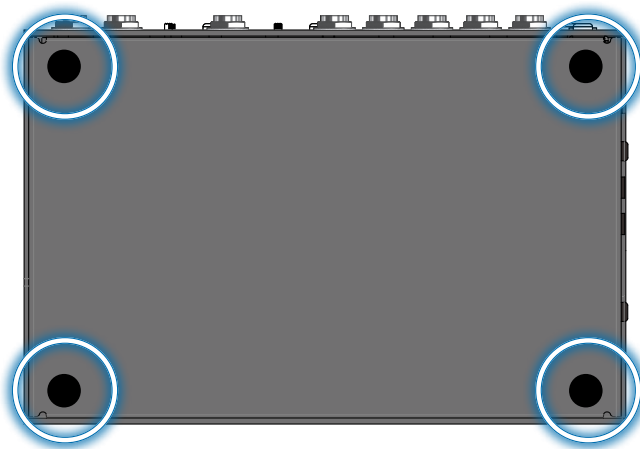


準備する

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

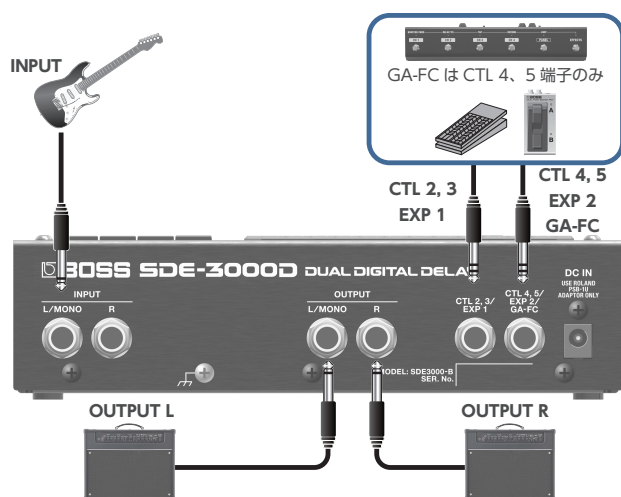


※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

機器の接続

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



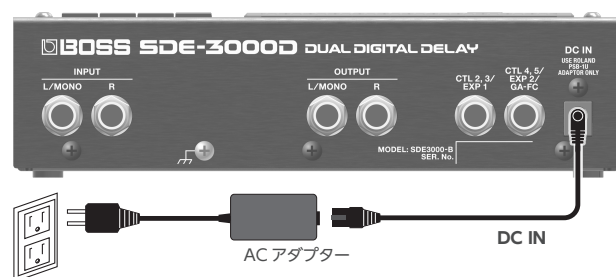
SDE-3000D は他にもさまざまな接続のしかたがあります。
詳しくは、「アンプの接続と入出力の設定をする」(P.9) をご覧ください。

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. DC IN 端子に AC アダプターを接続します。

SDE-3000D の電源が入ります。



2. 接続した機器 → ギター・アンプの順で、電源を入れます。

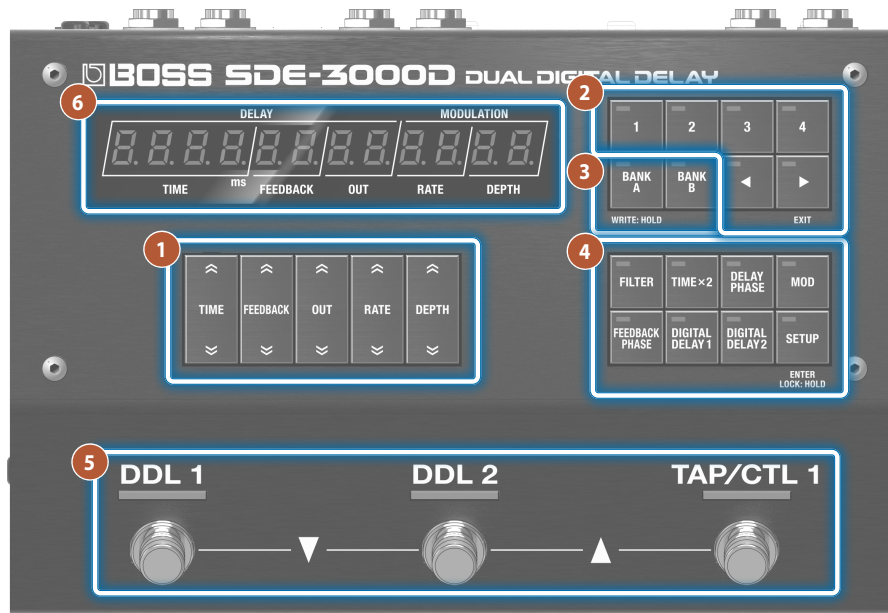
※ 電源を切るときは、電源を入れるときと逆の手順で操作します。

※ 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。

※ 電源をオフにしたときのバンクとメモリー番号を記憶し、次に電源をオンにするときに呼び出します。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



エリア	説明
1 コントロール	各ボタンの上を押すとプラス方向（値の増加）、下を押すとマイナス方向（値の減少）に変化します。各ボタンを長押しすると、急速に変化させることができます。 [TIME] ボタン ディレイ・タイムを調節します。 [FEEDBACK] ボタン ディレイ・フィードバック・レベルを調節します。 [OUT] ボタン ディレイ音の出力レベルを調節します。 [RATE] ボタン ディレイ・モジュレーションの揺れの周期を調節します。 [DEPTH] ボタン ディレイ・モジュレーションの深さを調節します。「0」でモジュレーションがオフになります。
2 メモリー	[1] ~ [4] ボタン メモリーを選びます。 → 「メモリーを選ぶ」 (P.15) [◀] [▶] ボタン プレイ画面を切り替えます。インプット・レベル ↔ パラメーター ↔ テンポ ↔ バンク／メモリー
3 バンク	[BANK A] [BANK B] ボタン バンク A / B を切り替えます。 バンク C のメモリー (C.01 ~) は、フット操作で選ぶことができます (P.6)。

エリア	説明
4 ディレイの設定	[FILTER] ボタン ディレイ・フィルター。エコーとして使用しているとき、自然な効果が得られます。 [TIME x 2] ボタン ディレイ・タイムのレンジを切り替えます。 オフ (x 1) : 0.0 ~ 1500ms オン (x 2) : 0.0 ~ 3000ms [DELAY PHASE] ボタン ディレイ音の位相を反転させます。 [MOD] ボタン モジュレーションをオン／オフします。 [FEEDBACK PHASE] ボタン ディレイ音のフィードバックの位相を反転させます。 [DIGITAL DELAY 1] ボタン (DDL 1) / [DIGITAL DELAY 2] ボタン (DDL 2) DDL 1 と DDL 2 のパラメーター表示を切り替えます。TIME LINK が OFF、OFFSET のときは、DDL 1 / DDL 2 の L チャンネル（緑点灯）と R チャンネル（赤点灯）のタイム表示を切り替えることができます。 [SETUP] ボタン メモリーやシステムの設定をします。また、ボタンの長押しでロックのオン／オフができます。ロック中は他のボタン操作が無効になります。
5 スイッチ	[DDL 1] スイッチ / [DDL 2] スイッチ DIGITAL DELAY 1/2 をオン／オフします。 [TAP/CTL 1] スイッチ スイッチを押す間隔でディレイ・タイムを設定できます。また、CTL ファンクションやアサインで設定した機能を使えます。 [DDL 1] スイッチと [DDL 2] スイッチを同時に押したり、[DDL 2] スイッチと [TAP/CTL 1] スイッチを同時に押したりしてメモリーを選ぶことができます。 → 「フット操作でメモリーを選ぶ」 (P.6)
6 ディスプレイ	操作に応じてさまざまな情報を表示します。 プレイ画面 → 「プレイ画面の表示を切り替える」 (P.4) エディット画面 → 各エディットのページをご覧ください。

プレイ画面の表示を切り替える

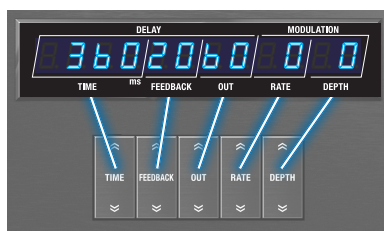
SDE-3000D 起動後に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。

1. [◀] [▶] ボタンを押して表示を切り替えます。



インプット・レベル表示 ⇄ パラメーター表示 ⇄ BPM 表示 ⇄ バンク／メモリー表示の順で、画面が切り替わります。

パラメーター表示



コントロール・ボタンで設定した値がすべて表示されます。

バンク／メモリー表示



インプット・レベル・メーター表示



INPUT LV と表示されてから自動でインプット・レベル表示に切り替わります。

入力信号レベルに応じてメーターが動きます。



入力信号がこのレベルを超えると、音の歪みが発生します。

※ インプット・レベルの設定は、全メモリーで共通の設定（システム設定）です。

BPM 表示



BPM に連動して点滅します（初期設定）。

[TAP/CTL 1] スイッチは、他の機能に切り替えることができます。
詳しくは、「CTL ファンクションの設定 (CTL)」(P.25) をご覧ください。

リア・パネル



エリア	説明
A	INPUT L/MONO 端子 ギターやキーボードを接続します。 モノで使用するときには L/MONO 端子のみをご使用ください。 ステレオ入力に設定されているときは、L (左) 側の音声を入力します。
B	INPUT R 端子 この端子に機器を接続すると、自動的にステレオ入力に設定されます。R (右) 側の音声を入力します。
C	OUTPUT L/MONO 端子 ギター・アンプやミキサーなどに接続します。モノで出力するときは L/MONO 端子のみに接続してください。
D	OUTPUT R 端子 ギター・アンプやミキサーなどに接続します。
E	CTL 2, 3/EXP 1 端子 エクスプレッション・ペダル (*1) やフットスイッチ (*2) を接続すると、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます。 ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。 ※ フットスイッチの設定については、「フットスイッチの接続」(P.24) をご覧ください。

エリア	説明
F	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子 エクスプレッション・ペダル (*1)、フットスイッチ (*2)、フット・コントローラー (*3) を接続すると、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます。
G	DC IN 端子 AC アダプターを接続します。 DC IN 端子に AC アダプターを接続すると、SDE-3000D の電源が入ります。
H	接地端子 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

*1 エクスプレッション・ペダル
別売: EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5

*2 フットスイッチ
別売: FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7

*3 フット・コントローラー
別売: GA-FC、GA-FC EX

サイド・パネル

MIDI (OUT/IN) 端子

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは、TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。

➔ 「外部 MIDI 機器を接続する」(P.31)

別売:
TRS/TRS コネクティング・ケーブル
BCC-1-3535、BCC-2-3535

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル
BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、
BMIDI-2-35



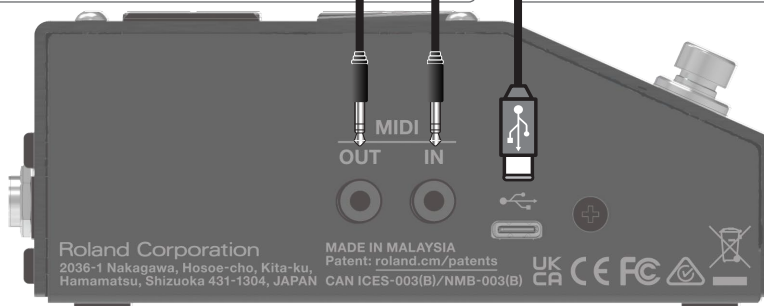
USB 端子 (USB Type-C®)

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

➔ 「パソコンに接続する」(P.34)



※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



Roland Corporation
2036-1 Nakagawa, Hosoe-cho, Kita-ku,
Hamamatsu, Shizuoka 431-1304, JAPAN

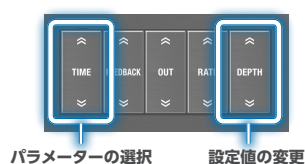
MADE IN MALAYSIA
Patent: roland.cm/patents
CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

UK CA CE FC

フットスイッチ・モードを設定する

フットスイッチ・モードには、メモリーを番号順に 1 つずつ選ぶ「マニュアル・モード」と、メモリーを番号順に 2 つずつ選ぶ「メモリー・モード」があります。また、メモリー・モードには、2 つ飛びに奇数番のメモリーを選ぶ「Immediate」と 2 つのメモリーを表示してからメモリーを選ぶ「Wait」があります。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで [595tEn] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで [FSMod]、[MMod] パラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーター	設定値	説明
FSMod (Footswitch Mode)	MANUAL (Manual)	マニュアル・モード。 1 つずつメモリーを選びます。
	MEMORY (Memory)	メモリー・モード。 2 つずつメモリーを選びます。
MMod (M. Mode)	Immediate (Immediate)	Immediate メモリー・モードのとき、2 つ飛び で即座にメモリーを切り替えます。
	Wait (Wait)	Wait メモリー・モードのとき、フット操作 で 2 つのメモリーを表示したあと、 もう一度フット操作をしてメモリーを 切り替えます。

フット操作でメモリーを選ぶ

SDE-3000D は 100 個のメモリーがあり、フット操作でメモリーを選ぶことができます。

メモリー: A.01 ~ A.04, B.01 ~ B.04, C.01 ~ C.92

マニュアル・モード

100 個のメモリーを番号順に 1 つずつ選ぶモードです。

1. メモリーを選びます。
2. [DDL 1] スイッチで DDL 1、[DDL 2] スイッチで DDL 2 をオン/オフします。



動作	操作
前のメモリーを選ぶ	[DDL 1] スイッチ + [DDL 2] スイッチ
次のメモリーを選ぶ	[DDL 2] スイッチ + [TAP/CTL 1] スイッチ

メモリー・モード

100 個のメモリーを番号順に 2 つずつ選ぶモードです。

2 つ飛びに奇数番のメモリーを選ぶ「Immediate」と、2 つのメモリーを表示してからメモリーを選ぶ「Wait」があります。

Immediate のとき

2 つ飛びで即座に奇数番のメモリーに切り替えます。偶数番のメモリーを選ぶときは、[DDL 2] スイッチを押します。

1. メモリーを選びます。

[DDL 1] + [DDL 2] スイッチ：前のメモリー

[DDL 2] + [TAP/CTL 1] スイッチ：次のメモリー

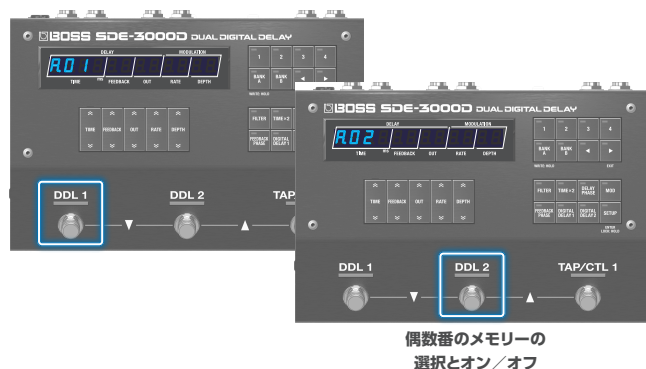
2 つ飛びで即座にメモリーが切り替わります。

たとえば *RD 1* が選ばれた場合、[DDL 1] スイッチは *RD 1* (奇数番のメモリー) の、[DDL 2] スイッチは *RD 2* (偶数番のメモリー) の選択とディレイのオン/オフができます。



2. [DDL 1] [DDL 2] スイッチで、メモリーを選びます。

同じスイッチを連続で押すと、ディレイをオフにしたり、メモリーされている状態に戻したりできます。



3. ディレイをオフにするときは、もう一度同じスイッチを押します。

Wait のとき

2 つのメモリーを表示してからメモリーを選びます。

1. メモリーの表示を切り替えます。

[DDL 1] + [DDL 2] スイッチ：前のメモリー

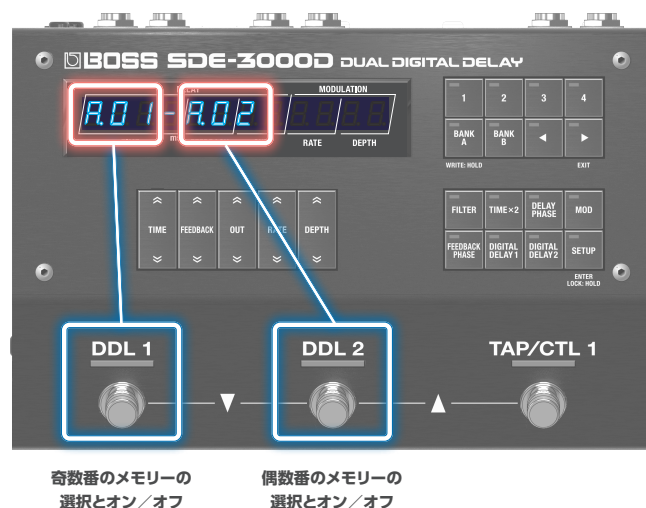
[DDL 2] + [TAP/CTL 1] スイッチ：次のメモリー

操作をするたびに表示が切り替わります。次の操作をするまでメモリーは切り替わりません。



2. [DDL 1] [DDL 2] スイッチでメモリーを選びます。

同じスイッチを連続で押すと、ディレイをオフにしたり、メモリーされている状態に戻したりできます。

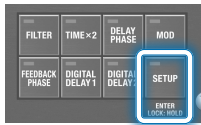


3. ディレイをオフにするときは、もう一度同じスイッチを押します。

インプットとアウトプットの設定をする

接続する機器に合わせて入出力を設定する

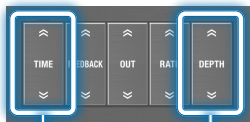
1. [SETUP] ボタンを押します。



2. [TIME] ボタンで「in out」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーターの選択 設定値の変更

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
out (Output Setting)	STEREO	OUTPUT L/MONO, R 端子からステレオ出力します。
	dirEFF (L: DIRECT, R: EFX)	OUTPUT DIRECT 端子からダイレクト音、OUTPUT EFX L 端子からディレイ音が出力されます。
	dirMUTE (DIRECT MUTE)	ダイレクト音がミュートされます。
Uni Gain (Uni Gain)	4d, -10d, -20d	接続機器の入出力レベルに合わせて +4dBm、-10dBm、-20dBm を切り替えます。
inVol (Input Volume)	1 ~ 100	入力レベルを調節します。
bYPASS (Bypass)	dSP (DSP)	オリジナルの Roland SDE-3000 と同じバイパス特性を完全再現しています。
	AnLG (Analog)	ハードウェアによるバイパス経路を通して出力されます。

2. [DEPTH] ボタンでインプット・レベルを調節します。

アウトプットの出カレベルを調節する (Output Gain)

出力レベルを調節したいときは、-12 ~ +12dB の間で調節することができます。

1. [SETUP] ボタンを押します。



2. [TIME] ボタンで「MASTER」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンで「outGR in」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

アウトプット・ゲイン・パラメーター (MASTER 設定内)

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
outGR in (Output Gain)	-12 ~ 12	出力レベルを調節します。

レベル・メーターを見ながらインプット・レベルを調節する

1. プレイ画面（起動後に表示される画面）で [◀] ボタンを押してインプット・レベル・メーターを表示します。

インプット・レベル・メーター表示



PEAK

入力信号がこのレベルを超えると、音の歪みが発生します。

アンプの接続と入出力の設定をする

SDE-3000D には、ステレオ仕様に拡張された 2 基のデジタル・ディレイ (Roland SDE-3000) が搭載されています。
2 つのディレイは、シリーズ接続とパラレル接続を切り替えることができます。接続方法のことをストラクチャーといいます。

入力／出力の設定方法については、下記をご覧ください。

➔ 「インプットとアウトプットの設定をする」 (P.8)

シリーズ接続とパラレル接続を切り替える (ストラクチャー)

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「*FAST*」を選びます。
4. [TIME] ボタンで「*STRUCT*」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



3. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

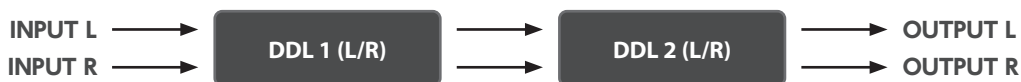


パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
STRUCT (Structure)	SER1 (Series)	2 つのディレイを直列に接続します。
	PARA1 (Parallel 1)	2 つのディレイを並列に接続します。
	PARA2 (Parallel 2)	2 つのディレイを OUTPUT L / MONO、R 端子から独立して出力します。

シリーズ接続

シリーズ

2 つのディレイを直列に接続します。



パラレル接続

パラレル 1

2 つのディレイを並列に接続します。



パラレル 2

2 つのディレイを OUTPUT L/MONO、R 端子から独立して出力します。



アンプを 1 台使用する場合 (1 in 1 out)

アンプを 1 台接続するときは、OUTPUT L/MONO 端子に接続します。DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) をミックスして出力します。



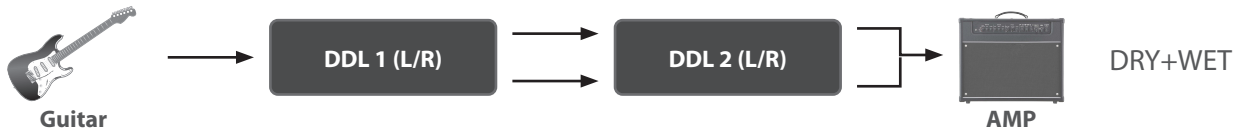
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
out (Output Setting)	StEeEo (STEREO)	OUTPUT L/MONO 端子のみにアンプを接続すると、モノ出力になります。

ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2 つのディレイを直列に接続します。



ディレイのストラクチャー (パラレル 1 / パラレル 2: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続します。

ディレイ・タイムの異なる 2 つのディレイを組み合わせてサウンドを作ることができます。



注意

SDE-3000D はオリジナルの Roland SDE-3000 を完全再現しています。Time の揺れなども忠実に再現しているため、パラレル接続した 2 基のディレイをミックスしてモノ出力した場合、設定によっては独特な変調音が発生しますが故障ではありません。

アンプを 2 台使用する場合 (1 in 2 out)

アンプを 2 台接続するときは、OUTPUT L/MONO 端子と OUTPUT R 端子に接続します。DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) をミックスして出力したり、DRY と WET を分けて出力したりできます。

DRY と WET をミックスして出力する場合



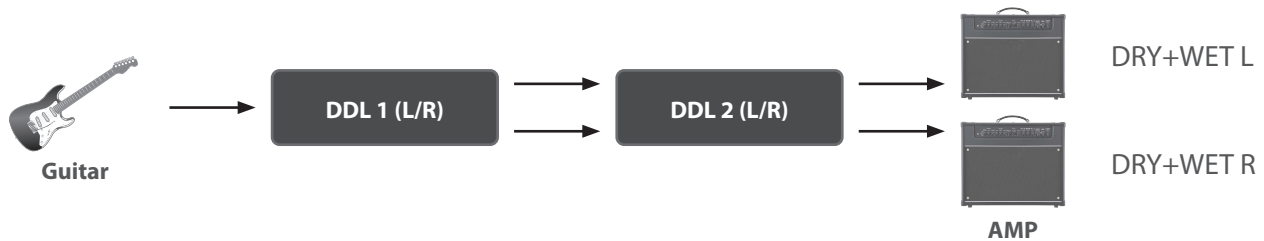
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
アウト (Output Setting)	StErEo (STEREO)	OUTPUT L/MONO、R 端子から ステレオ出力します。

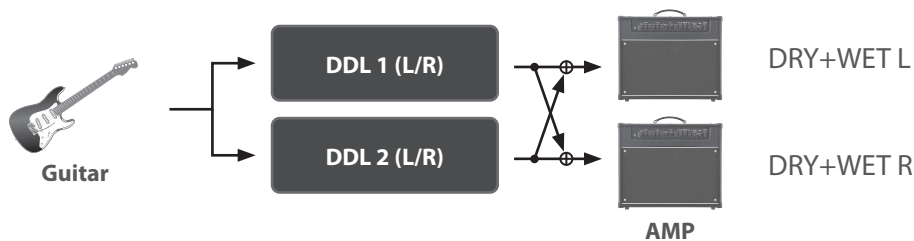
ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2 つのディレイを直列に接続します。



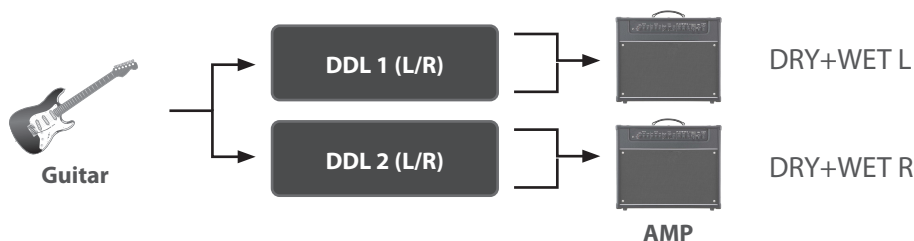
ディレイのストラクチャー (パラレル 1: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続します。



ディレイのストラクチャー (パラレル 2: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から出力します。



アンプの接続と入出力の設定をする

DRY と WET を分けて出力する場合



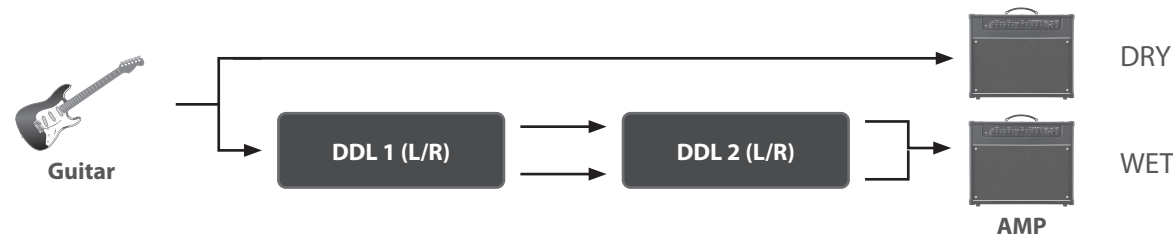
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター	設定値	説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン	
出力 (Output Setting)	dirEFF (L: DIRECT, R: EFX) dirMUTE (Direct Mute)	OUTPUT L/MONO 端子からダイレクト音、OUTPUT R 端子からディレイ音が出力されます。

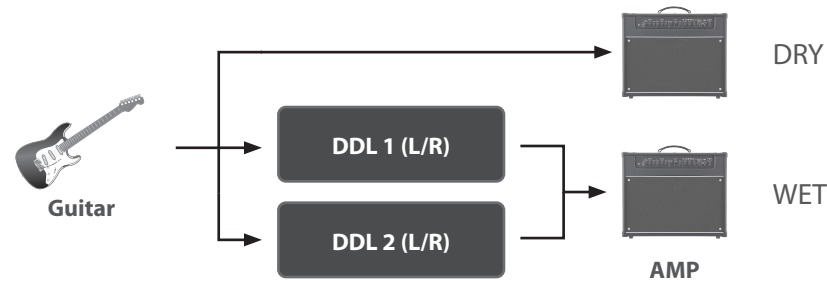
ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2 つのディレイを直列に接続します。



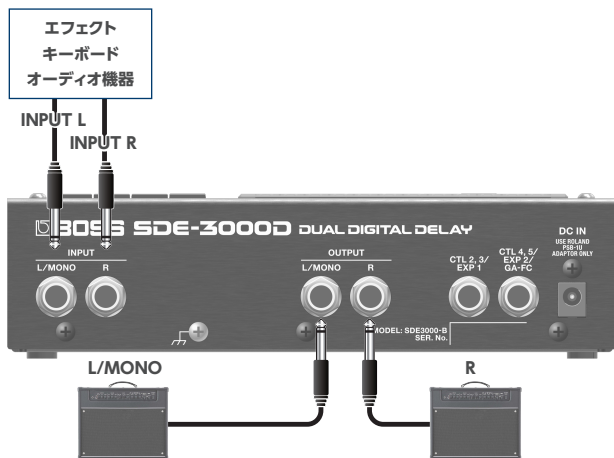
ディレイのストラクチャー (パラレル 1 / パラレル 2: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から出力します。



ステレオ入出力する場合 (2 in 2 out)

ステレオで入力して、DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) がミックスして出力されます。



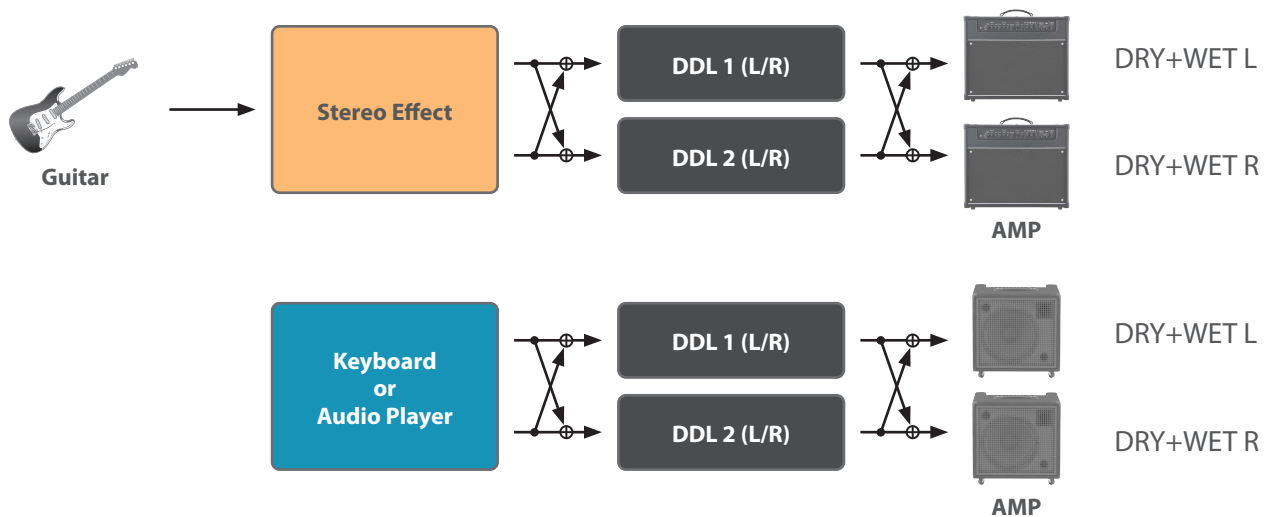
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
out (Output Setting)	STEREO (STEREO)	OUTPUT L/MONO、R 端子からステレオ出力します。

ディレイのストラクチャー (パラレル 1: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続します。



フット・ボリュームを使う

フット・ボリュームを設定する

音量をコントロールするエフェクトです。CTL2,3/EXP1 端子、CTL4,5/EXP2/GA-FC 端子に接続したエクスプレッション・ペダルで操作します。

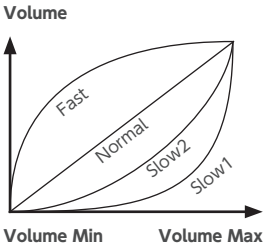
1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「Foot Vol」を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
F.UoL.Sw (Foot Vol Switch)	oFF (off) oN (on)	フット・ボリュームのオン、オフを設定します。
PEdAL.Pos (Pedal Position)	0 ~ 100	音量を設定します。
UoL.Min (Volume Min)	0 ~ 100	ペダルのかかと側を踏んだときの音量を設定します。
UoL.Max (Volume Max)	0 ~ 100	ペダルのつま先側を踏んだときの音量を設定します。
CUrVE (Curve)	SLoW1 (Slow1) SLoW2 (Slow2) NoRmAL (Normal) FASt (Fast)	ペダルを踏み込む量に対して、実際の音量がどのように変化するかを選びます。 
F.UPrF (Foot Vol Preference)	MEMoRY (Memory) SYStEM (System)	フット・ボリュームの設定をメモリーの設定に従うか、システムの設定に従うか設定します。

プリファレンス・パラメーター

本機は、プリファレンス・パラメーターを持っています。

「MEMoRY (Memory)」を選ぶと、メモリーごとに個別に設定することができます。

「SYStEM (System)」を選ぶと、システムの設定に従うので、メモリーを切り替えても同じ設定のまま使うことができます。お使いの状況に合わせて使い分けてください。

演奏する

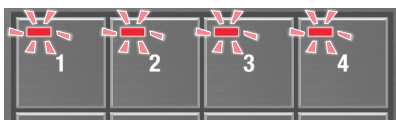
メモリーを選ぶ

1. [BANK A] ボタンまたは [BANK B] ボタンを押して、バンクを選びます。



ボタン (インジケーターの色)	バンク (メモリー)
[BANK A] ボタン	BANK A (1 ~ 4)
[BANK B] ボタン	BANK B (1 ~ 4)

バンクを選ぶと、メモリー・ボタンのインジケーターとディスプレイのメモリー番号が点滅します。



2. [1] ~ [4] ボタンを押して、メモリーを選びます。

エディットする

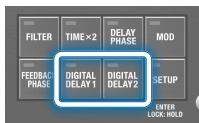
ディレイ音を設定する (トップ・パネルからの操作)

ディスプレイに表示されているパラメーターをボタンで変更します。

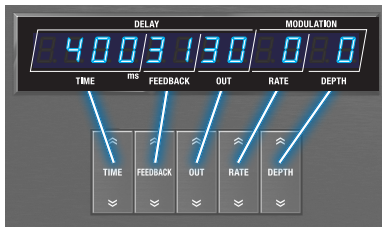
1. ディスプレイをプレイ画面のパラメーター表示に切り替えます (P.4)。



2. [DIGITAL DELAY 1] [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押して、操作対象のディレイを選びます。



3. コントロール・ボタンで、ディレイを設定します。



ボタン (パラメーター)	設定値/説明
[TIME] ボタン	ディレイ・タイムを設定します。
	00 ~ 1500 0.0 ~ 1500ms (TIME x2 オフ)
	00 ~ 3000 0.0 ~ 3000ms (TIME x2 オン)
[FEEDBACK] ボタン	フィードバック量を設定します。
[OUT] ボタン	ディレイ音の出力音量を設定します。
[RATE] ボタン	0 ~ 99 、 oF (音符) *1 モジュレーションの速さを設定します。
[DEPTH] ボタン	0 ~ 99 モジュレーションの深さを設定します。

*1 設定可能な音符一覧

記号	説明	記号	説明
1_1b	16 分音符	2t	3 連 2 分音符
8t	3 連 8 分音符	4d	付点 4 分音符
1bd	付点 16 分音符	1_2	2 分音符
1_8	8 分音符	1t	3 連全音符
4t	3 連 4 分音符	2d	付点 2 分音符
8d	付点 8 分音符	1_1	全音符
1_4	4 分音符		

※ 設定した音符がディレイ・タイムの上限を超えるときは、半分の長さに置き換わります。

その他のディレイ・パラメーター (DDL 1、DDL 2)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「**ddl 1**」「**ddl 2**」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター・リスト (DDL 1、DDL 2 共通)

メモ

[DIGITAL DELAY 1] ボタンと [DIGITAL DELAY 2] ボタンで DDL 1 と DDL 2 のパラメーターを切り替えます。

パラメーター	設定値／説明	
d 15H (DDL 1 Switch)	DDL 1 または DDL 2 のオン／オフを設定します。	
d 25H (DDL 2 Switch)	oFF (Off)	オフ
	oN (On)	オン
d 1t 4P (DDL 1 type)	DDL 1 または DDL 2 のタイプを設定します。	
d 2t 4P (DDL 2 type)	StErEo (Stereo)	ステレオ入出力のディレイです。
	PAn (Pan)	ディレイ・タイム（音を遅らせる時間）をL/Rチャンネルに振り分けたタップ・ディレイ効果が得られます。
d 1t nL nR (DDL 1 Timelink)	DDL 1 または DDL 2 の Delay Time を左右独立させるか（off）、左右共通にするか（on）を設定します。	
d 2t nL nR (DDL 2 Timelink)	oFF (Off)	ディレイ・タイムを左右独立させます。
	oN (On)	ディレイ・タイムを左右共通にします。
	o5t (Offset)	オフセットの設定を維持しながら左右が連動します。 タップ・テンポにも追従します。
d 1oFF5t (DDL 1 Offset)	d 1t nL nR、d 2t nL nR が o5t のときに表示されます。	
d 2oFF5t (DDL 2 Offset)	-99 ~ 0 ~ 99	R ch のディレイ・タイムをL ch からずらす時間を設定します（msec）。 オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。
d 1WAVEFN (DDL 1 Waveform)	モジュレーションの波形を選びます。	
d 2WAVEFN (DDL 2 Waveform)	tri (Triangle)	三角波 SDE-3000 のオリジナルの波形です。
	Sin (Sine)	正弦波
d 1ModPH (DDL 1 Mod phase)	左右の位相を設定します。	
d 2ModPH (DDL 2 Mod phase)	nor (Normal)	ノーマル（正相） 位相は変化しません。
	inV (Invert)	インバート（逆相） 位相が逆転します。
d 1FbEQtP (DDL 1 Feedback EQ type)	ディレイのフィードバックにかかる EQ タイプを選びます。	
d 2FbEQtP (DDL 2 Feedback EQ type)	oFF (Off)	フィードバック EQ はオフです。
	orG (Original)	SDE-3000 のオリジナルの特性です。
	uSr (User)	ユーザー設定で自由にセットできます。

パラメーター	設定値／説明
$d\ lFbL\ C\ F$ (DDL 1 Feedback EQ Lo Freq) $d\ 2FbL\ C\ F$ (DDL 2 Feedback EQ Lo Freq) *1	設定された周波数より低い周波数成分をカットします (ロー・カット・フィルター)。 FLAt (Flat) ロー・カット・フィルターは、はた しません。 20 ~ 800 20、25、31.5、40、50、63、 80、100、125、160、200、 250、315、400、500、630、800 (Hz)
$d\ lFbH\ C\ F$ (DDL 1 Feedback EQ hi Freq) $d\ 2FbH\ C\ F$ (DDL 2 Feedback EQ hi Freq) *1	設定された周波数より高い周波数成分をカットします (ハイ・カット・フィルター)。 630 ~ 125k 630、800、1000、1.25k、1.6k、 2k、2.5k、3.15k、4k、5k、6.3k、 8k、10k、12.5k (Hz) FLAt (Flat) ハイ・カット・フィルターは、はた しません。
$d\ lFbH\ C\ G$ (DDL 1 Feedback EQ Hc Gain) $d\ 2FbH\ C\ G$ (DDL 2 Feedback EQ Hc Gain) *1	-24 ~ 0 高音域の音質を調節します。

*1 $d\ lFbEQ\ t\ P$ (DDL 1 Feedback EQ type)、 $d\ 2FbEQ\ t\ P$ (DDL 2 Feedback EQ type) パラメーターが $u\ 5r$ (User) に設定されているときのみ表示されます。

左右のディレイ・タイムをリンクさせる (タイム・リンク)

タイム・リンクとは、左右のディレイ・タイムを共通にしたり、独立させたりする機能です。

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「 $ddl\ 1$ 」「 $ddl\ 2$ 」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値／説明
$d\ l\ t\ NL\ i\ n\ k$ (DDL 1 Timelink) $d\ 2\ t\ NL\ i\ n\ k$ (DDL 2 Timelink)	DDL 1 または DDL 2 の Delay Time を左右独立させるか (off)、左右共通にするか (on) を設定します。 oFF (Off) ディレイ・タイムを左右独立させます。 oN (On) ディレイ・タイムを左右共通にします。 o5t (Offset) オフセットの設定を維持しながら左右が連動します。タップ・テンポにも追従します。
$d\ l\ oFF5t$ (DDL 1 Offset) $d\ 2\ oFF5t$ (DDL 2 Offset)	$d\ l\ t\ NL\ i\ n\ k$ 、 $d\ 2\ t\ NL\ i\ n\ k$ が $o5t$ のときに表示されます。 -99 ~ 0 ~ 99 R ch のディレイ・タイムを L ch からずらす時間を設定します (msec)。オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。

ディレイ・タイムを左右共通の設定にする (タイム・リンク：オン)

タイム・リンクをオンに設定すると、ディレイ・タイムは左右共通の設定になります。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えても、左右共通の状態を維持します。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「 $ddl\ 1$ 」「 $ddl\ 2$ 」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「 $d\ l\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」「 $d\ 2\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」を選び、[DEPTH] ボタンで「on」にします。

ディレイ・タイムを左右独立した設定する (タイム・リンク：オフ)

タイム・リンクをオフにすると、左右のディレイ・タイムを完全に独立して設定します。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えると、左右のどちらか選択中のディレイだけが変更されます。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「 $ddl\ 1$ 」「 $ddl\ 2$ 」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「 $d\ l\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」「 $d\ 2\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」を選び、[DEPTH] ボタンで「oFF」にします。

Lch から 400msec、Rch から 800msec の異なったディレイを出力する



1. [DIGITAL DELAY 1] ボタンを緑点灯にして、TIME を「400」に設定します。
2. [DIGITAL DELAY 1] ボタンを赤点灯にして、TIME を「800」に設定します。

左右で異なるディレイ・タイムを設定する (タイム・リンク：オフセット)

ディレイ・タイムをオフセット調整して、左右で異なるディレイ・タイムを設定することができます。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えても、オフセットの状態を維持します。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「 $ddl\ 1$ 」「 $ddl\ 2$ 」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「 $d\ l\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」「 $d\ 2\ t\ NL\ i\ n\ k$ 」を選び、[DEPTH] ボタンで「o5t」にします。

4. [TIME] ボタンで「d loFF5t」または「d2oFF5t」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



R ch の値は、L ch の値からオフセットの設定 (-10msec) 分だけずれた値になります。

メモ

オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。

ディレイ・タイムを「505msec」、オフセットを「-10」に設定した場合

微妙に左右のディレイ・タイムをずらしたサウンドを空間合成して、広がりのあるディレイ・サウンドになります。

L チャンネル (505msec)

この画面のときは、[TIME] ボタンでディレイ・タイムを変更することができます。



R チャンネル (495msec)

オフセットで設定した値 (先頭に「a」) が表示されます。この画面のときは、[TIME] ボタンでオフセット値を変更することができます。

メモ

[DIGITAL DELAY 1] または [DIGITAL DELAY 2] ボタンを続けて押すと、ボタンを押すたびに L チャンネルと R チャンネルが切り替わります。

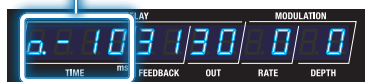
1. タップ・テンポでディレイ・タイムを変更します。



テンポが変わっても、オフセット量が常に一定となり、音像を保つことができます。

L チャンネル (542msec)

この画面のときは、[TIME] ボタンでディレイ・タイムを変更することができます。



R チャンネル (532msec)

オフセットで設定した値 (先頭に「a」) が表示されます。この画面のときは、[TIME] ボタンでオフセット値を変更することができます。

DDL 1 / DDL 2 の左右のタイム表示を切り替える

1. インジケーターが点灯している [DIGITAL DELAY 1] または [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、選ばれたチャンネル (Lch/Rch) がディスプレイにポップアップ表示され、左右のタイム表示が切り替わります。

L チャンネル (インジケーター緑点灯)



R チャンネル (インジケーター赤点灯)



ディレイ・タイム以外のパラメーターは、左右共通です。

ディレイのオン／オフ時やメモリーの切り替え時に響きを残す (キャリー・オーバー)

キャリー・オーバーをオンにすると、ディレイのオン／オフ時や、メモリーを切り替えたときに切り替え前のディレイの残響音を残すことができます。

キャリー・オーバーをオンにする

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「nAsEtEr」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「d lCrYoUr」または「d2lCrYoUr」を選び、[DEPTH] ボタンで「on」にします。

キャリー・オーバー・パラメーター (MASTER 設定内)

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
d lCrYoUr (DDL 1 Carryover)	oFF (Off)	オンにすると、ディレイのオン／オフ時や、メモリーを切り替えたときに、切り替え前のディレイの残響音を残すことができます。
d2lCrYoUr (DDL 2 Carryover)	oFF (Off)	キャリー・オーバーが無効になります。
	on (On)	キャリー・オーバーが有効になります。

テンポを設定する (BPM)

ディレイ・タイムを音符で設定したときのテンポを設定します。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「*MASTER*」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「*bpm*」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

BPM パラメーター (MASTER 設定内)

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>bpm</i> (BPM)	40 ~ 250	テンポを設定します。

メモ

外部クロックを受信したときは、以下のように表示されます。



その他のパラメーターを設定する (MASTER)

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「*MASTER*」を選びます。



3. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>ModL inL</i> (Mod Link)		ストラクチャーをパラレル 2 にしたときに表示されます。
	<i>nor</i> (Normal)	DDL 1、2 間のモジュレーションの位相を合わせます。
	<i>inL</i> (Invert)	DDL 1、2 間のモジュレーションの位相を反転させます。
	<i>oFF</i> (off)	オフ (フリーラン) にします。
<i>dir.LEVEL</i> (Direct Level)	0 ~ 100	ダイレクト・レベルを設定します。 「60」に設定すると、入出力のバランスが 1:1 になります (ユニティ・ゲイン)。
<i>out.Gain</i> (Output Gain)	- 12 ~ 12	出力レベルを調節します。
<i>TEMPoHLd</i> (Tempo Hold)	<i>oFF</i> (off) <i>oN</i> (on)	メモリーを切り替えたとき、テンポ (BPM) を変えるか (<i>oFF</i>)、維持するか (<i>oN</i>) を設定します。テンポを維持することによりディレイ・タイムも維持することができます。ただし、切り替えたパッチの NOTE 設定 (音符) が異なる場合はディレイ・タイムも変わります。メモリーごと設定を変えることができます。

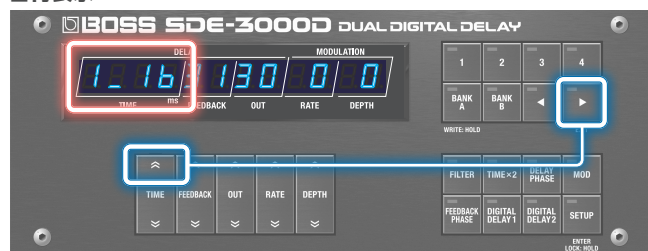
便利な機能

ディレイ・タイムの音符表示と時間表示を切り替える

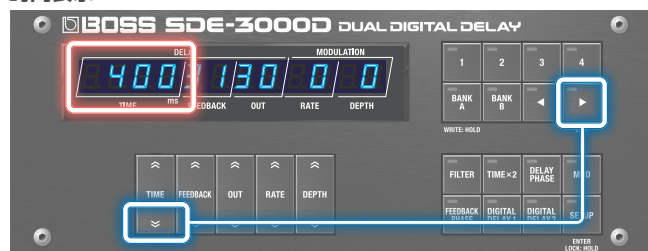
1. プレイ画面がパラメーター表示のとき、[▶] ボタンを押しながら [TIME] ボタンの上下を押します。

操作	表示
[▶] ボタン + [TIME (上)] ボタン	音符表示
[▶] ボタン + [TIME (下)] ボタン	時間表示

音符表示



時間表示



設定可能な音符一覧

記号	説明
1.16	16 分音符
8t	3 連 8 分音符
16d	付点 16 分音符
1.8	8 分音符
4t	3 連 4 分音符
8d	付点 8 分音符
1.4	4 分音符

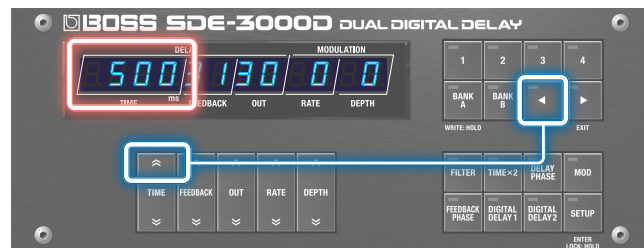
記号	説明
2t	3 連 2 分音符
4d	付点 4 分音符
1.2	2 分音符
1t	3 連全音符
2d	付点 2 分音符
1.1	全音符

ディレイ・タイムを大きく変更する

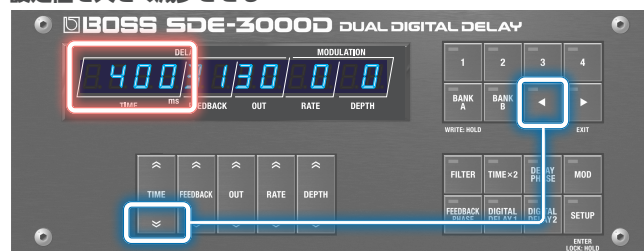
1. プレイ画面のディレイ・タイムが時間表示のとき、[◀] ボタンを押しながら [TIME] ボタンの上下を押します。
設定値が大きくなが減少します。

操作	表示
[◀] ボタン + [TIME (上)] ボタン	設定値が大きくなが減少
[◀] ボタン + [TIME (下)] ボタン	設定値が大きくなが減少

設定値を大きく増加させる



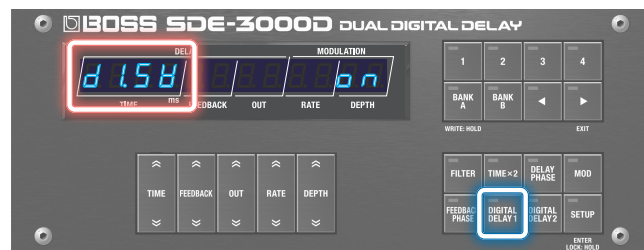
設定値を大きく減少させる



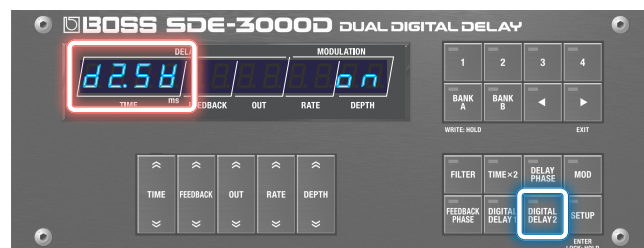
パラメーターの設定画面で DDL 1 と DDL 2 を切り替える

1. ディレイのエディット中に [DIGITAL DELAY 1] [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押します。
パラメーターを変えずにボタンで選んだディレイの設定画面に切り替わります。選択中のディレイのインジケーターが点灯します。

DDL 1



DDL 2



メモリーの保存や入れ替えなどをする

メモリーを保存する (WRITE)

選択中のメモリーを保存します。

1. [BANK A] (WRITE) ボタンを長押しします。

ライト・メニューが表示されます。



ディスプレイに「Hr 1E」と表示されていないときは、[TIME] ボタンで「Hr 1E」を選びます。

2. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

書き込み先のメモリー番号が表示されます。



3. 書き込み先を変更するときは、[DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A] (WRITE) ボタンを押して、メモリーを保存します。

保存が完了すると、書き込み先のメモリーに変わり、プレイ画面に戻ります。

メモリーを入れ替える (EXCHANGE)

保存されているメモリーのメモリー番号を入れ替えます。

1. [BANK A] (WRITE) ボタンを長押しします。

ライト・メニューが表示されます。



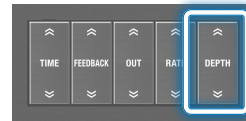
2. [TIME] ボタンで「E11ChAnGE」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



入れ替えるメモリー番号が表示されます。



3. 入れ替えるメモリー番号を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A] (WRITE) ボタンを押して、エクスチェンジを実行します。

エクスチェンジが完了すると、プレイ画面に戻ります。

メモリーを初期化する (INITIALIZE)

選択中のメモリーを初期化します。

1. [BANK A] (WRITE) ボタンを長押しします。

ライト・メニューが表示されます。



2. [TIME] ボタンで「INITIALIZE」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



初期化するメモリー番号が表示されます。



3. 初期化するメモリー番号を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A] (WRITE) ボタンを押して、イニシャライズを実行します。

イニシャライズが完了すると、プレイ画面に戻ります。

誤操作を防ぐ（パネル・ロック）

ボタンの操作を有効（Lock OFF）にするか／無効（Lock ON）にするかを切り替えることができます。

メモ

電源をオフにすると、パネル・ロックの設定は無効になります。

1. プレイ画面で [SETUP] ボタンを長押しします。

ボタンを押すたびにオン／オフが切り替わります。

状態が切り替わると以下の画面が表示され、プレイ画面に戻ります。

Lock ON



Lock OFF

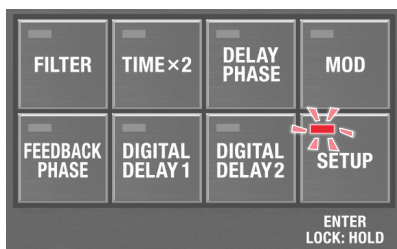


ロック中に操作をすると、ディスプレイに「LoCkEd」と表示されます。



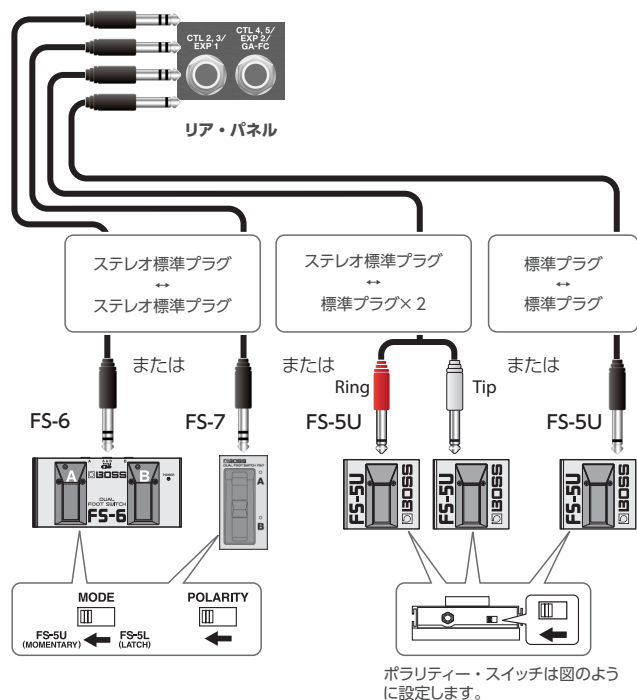
メモ

パネル・ロックがオンのときは、[SETUP] ボタンが点灯します。



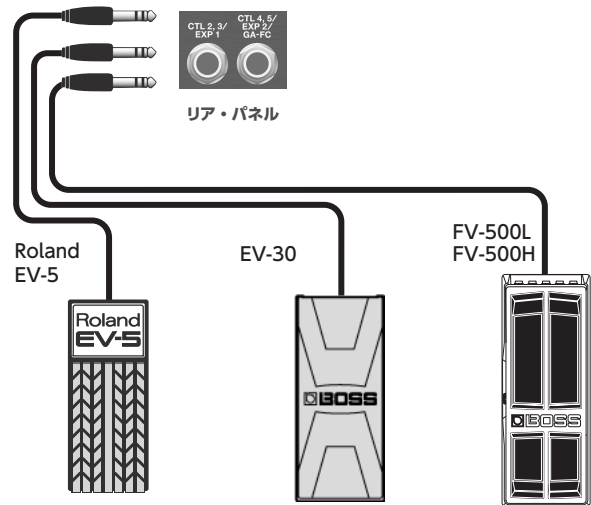
外部コントローラーを設定する

フットスイッチの接続



エクスプレッション・ペダルの接続

エクスプレッション・ペダルを接続すると、音量などをコントロールできます。



※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

対応エクスプレッション・ペダル

別売：BOSS EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5

フットスイッチ		CTL 2,3/EXP 1 端子	CTL 4,5/EXP 2/ GA-FC 端子
FS-6	A	CTL 3	CTL 5
	B	CTL 2	CTL 4
FS-7	A	CTL 3	CTL 5
	B	CTL 2	CTL 4
FS-5U	RING (赤)	CTL 2	CTL 4
	TIP	CTL 3	CTL 5

※ 本機はラッチ・タイプのフットスイッチに対応しています。FS-6、FS-7 使用時は A、B のモードを FS-5U (MOMENTARY) に設定してください。

対応フットスイッチ

別売：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7

CTL ファンクションの設定 (CTL)

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで「**CTL**」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

コントロール・パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
OFF (Off)		CTL 1 ~ CTL 5 スイッチをオフにします。
bPntAP (BPM Tap)		BPM をタップ入力します。
d l2tAP (DDL 1/DDL 2 Tap)		DDL 1 と DDL 2 (同時)
d lLtAP (DDL 1 Lch Tap)		DDL 1 の L チャンネル
d lRtAP (DDL 1 Rch Tap)		DDL 1 の R チャンネル
d2LtAP (DDL 2 Lch Tap)		DDL 2 の L チャンネル
d2RtAP (DDL 2 Rch Tap)		DDL 2 の R チャンネル
d l25H (DDL 1/DDL 2 Switch)		DDL 1 と DDL 2 (同時)
d l5H (DDL 1 Switch)		DDL 1
d25H (DDL 2 Switch)		DDL 2
d l2HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)		DDL 1 と DDL 2 (同時)
d lHOLD (DDL 1 Hold)		押している間だけ、ディレイ音が繰り返されます (*1、*2)。
d2HOLD (DDL 2 Hold)		DDL 2
d l2MoM (DDL 1/DDL 2 MOMENT)		DDL 1 と DDL 2 (同時)
d lMoM (DDL 1 MOMENT)		押している間だけ、ディレイ音を出します (*1)。
d2MoM (DDL 2 MOMENT)		DDL 2
bYPASS (Bypass)		バイパスをオン/オフします。オンのときは、入力された音をそのまま出力します。 → 「Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)」 (P.30)
MEMUp (Memory up)		次のメモリーに切り替えます。
MEMdn (Memory down)		1 つ前のメモリーに切り替えます。
MEMnum (MEMORY NUMBER)		好きなメモリー番号をアサインでき、すぐに呼び出すことができます。(CTL 1 Function にこの機能はありません)

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
CTL2num (CTL 2 Number) : CTL5num (CTL 5 Number)	RD 1 ~ 04 , BD 1 ~ 04 , CD 1 ~ 92	CTL2Func (CTL 2 Function) ~ CTL5Func (CTL 5 Function) で MEMnum (MEMORY NUMBER) に設定したときに、各コントロールにメモリーをアサインします。
CTL1dHOLD (CTL1 DDL 1 Hold) : CTL5d2HOLD (CTL5 DDL 2 Hold)	CTL1Func ~ CTL5Func が d l2HLd 、 d lHOLD 、 d2HOLD のとき 0 ~ 120	Hold レベルを調節します。
CTL1Mod (CTL1.Mode) : CTL5Mod (CTL5.Mode)	CTL1Func ~ CTL5Func が OFF 、 tAP 、 MEMUp 、 MEMdn のときは、このパラメーターは表示されません。 toGGLE (Toggle) MoMEnt (Moment)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。 スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。
CTL1PrF (CTL1 PREFERENCE) : CTL5PrF (CTL5 PREFERENCE)	MEMory (Memory) SYStEm (System)	CTL スイッチをメモリーごとに異なった設定にするのか (MEMory)、すべてのメモリーで同じ設定を共有するか (SYStEm) を設定します。
EXP1Func (EXP1.Function) EXP2Func (EXP2.Function)	OFF (Off) FU (Foot Volume) d lLt (DDL 1 Time Lch) d lLtR (DDL 1 Time Rch) d2Lt (DDL 2 Time Lch) d2LtR (DDL 2 Time Rch)	EXP 1、EXP 2 ペダルは使用しません。 フット・ボリュームの音量を調節します。 DDL 1 の L チャンネル DDL 1 の R チャンネル DDL 2 の L チャンネル DDL 2 の R チャンネル
EXP1Func (EXP1.Function) EXP2Func (EXP2.Function)	d lFbV (DDL 1 Feedback) d2FbV (DDL 2 Feedback) d lout (DDL 1 Out) d2out (DDL 2 Out) d lModRate (DDL 1 Modulation Rate) d2ModRate (DDL 2 Modulation Rate) d lModPt (DDL 1 Modulation Depth) d2ModPt (DDL 2 Modulation Depth) d lRLUL (Direct Level)	フィードバック量を調節します。 DDL 2 DDL 1 DDL 2 DDL 1 DDL 2 モジュレーションのレート調節します。 DDL 1 DDL 2 モジュレーションのデプスを調節します。 ダイレクト・レベルを調節します。
EXP1Min (EXP1.Min) EXP2Min (EXP2.Min)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最小値を設定します。
EXP1Max (EXP1.Max) EXP2Max (EXP2.Max)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最大値を設定します。
EXP1PrF (EXP1 PREFERENCE) EXP2PrF (EXP2 PREFERENCE)	MEMory (Memory) SYStEm (System)	EXP ペダルをメモリーごとに異なった設定にするのか (MEMory)、すべてのメモリーで同じ設定を共有するか (SYStEm) を設定します。

*1 該当する **CTL1ModE** (CTL1.Mode) ~ **CTL5ModE** (CTL5.Mode) パラメーターを **MoMEnt** (Moment) に設定する必要があります。

*2 ホールド中にディレイをオン/オフしたり、モジュレーションをかけたりすると、出力音量が上がるのでご注意ください。

アサインの設定 (ASSIGN)

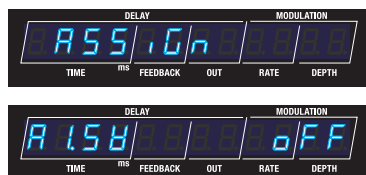
[CTL 1] スイッチや、接続したフットスイッチなどにお好みの機能を割り当てることができます。

アサインの設定は、メモリーごとに 8 つまで設定することができます。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで [ASSIGN] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンで設定したいアサインのスイッチ [ASSIGN 1 Switch] ~ [ASSIGN 8 Switch] を選び、[DEPTH] ボタンで [ON] にします。

メモ

初期設定ではすべてのアサインがオフになっており、設定パラメーターが表示されません。アサインを設定するときは、先にアサインのスイッチをオンにしてください。

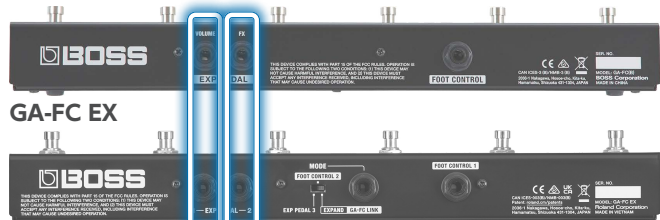
4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

アサイン・パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
ASSIGN 1 Switch ...	OFF (off) ON (on)	Assign1 ~ 8 をオン/オフします。オンにすると、以下のパラメーターが設定できます。
ASSIGN 8 Switch	CTL 1 ~ CTL 5 (CTL 1 ~ CTL 5)	CTL 1 ~ CTL 5 スイッチ
	EXP1 EXP2	EXP1、EXP2 ペダル
	GA-FC [CH1] ~ [CH4] GA-FC [Panel] GA-FC [Effects]	GA-FC [CH1] ~ [CH4] スイッチ、GA-FC [Peda] スイッチ、GA-FC [Effect] スイッチ
ASSIGN 1 Source ...	GA-FC EXP1 GA-FC EXP2	GA-FC EXP1、EXP2 ペダル (*1)
ASSIGN 8 Source	GA-FC S1 GA-FC S2	GA-FC S1、S2 (*1)
	CC01 ~ CC31 CC64 ~ CC95	CC01 ~ 31、CC64 ~ 95
ASSIGN 1 Mode ...	TOGGLE (Toggle)	操作をするたびにオフ (最小値) / オン (最大値) が切り替わります。
ASSIGN 8 Mode	MOMENT (Moment)	通常はオフ (最小値) になり、操作している間だけオン (最大値) になります。

*1 GA-FC のペダル端子

GA-FC



GA-FC EXP1 (GA-FC EXP1)	GA-FC EXP2 (GA-FC EXP2)	EXP ペダルの機能を設定します。
GA-FC S1 (GA-FC S1)	GA-FC S2 (GA-FC S2)	フットスイッチの機能を設定します。

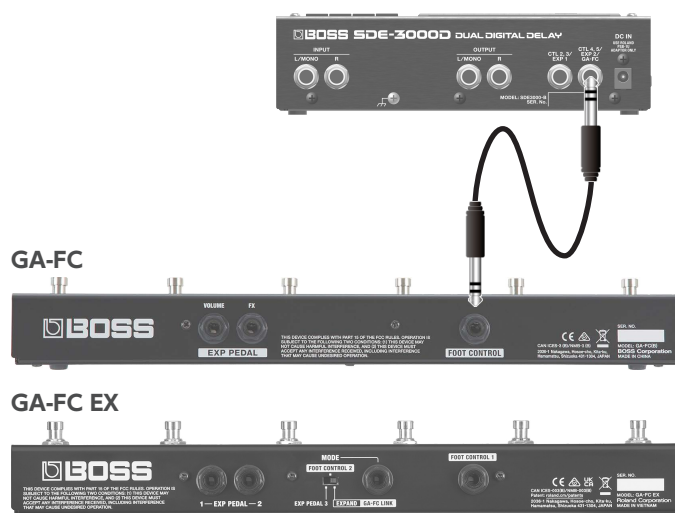
パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
A L T G (Assign 1 Target) : A B T G (Assign 8 Target)		操作子に割り当てる機能を選びます。 選んだ機能の最小値／最大値を Min / Max で設定します。各アサインのモードに従って、「A L T G」パラメーター ↔ 「A B T G」パラメーターの値に切り替わります。
	d 1 S H (DDL 1 Switch)	DDL 1 デイレイをオン／オフします。
	d 2 S H (DDL 2 Switch)	DDL 2
	d 1 L L (DDL 1 Time Lch)	DDL 1 の L チャンネル
	d 1 L R (DDL 1 Time Rch)	DDL 1 の R チャンネル
	d 2 L L (DDL 2 Time Lch)	DDL 2 の L チャンネル
	d 2 L R (DDL 2 Time Rch)	DDL 2 の R チャンネル
	d 1 F b E (DDL 1 Feedback)	DDL 1 フィードバック量を調節します。
	d 2 F b E (DDL 2 Feedback)	DDL 2
	d 1 o u t (DDL 1 Output)	DDL 1 デイレイ音の出力音量を調節します。
	d 2 o u t (DDL 2 Output)	DDL 2
	d 1 r A t E (DDL 1 Rate)	DDL 1 デイレイのレートを調節します。
	d 2 r A t E (DDL 2 Rate)	DDL 2
	d 1 d E P t (DDL 1 Depth)	DDL 1 デイレイのデプスを調節します。
	d 2 d E P t (DDL 2 Depth)	DDL 2
	d 1 M o d (DDL 1 Modulation)	DDL 1 モジュレーションをオン／オフします。
	d 2 M o d (DDL 2 Modulation)	DDL 2 ※トップ・パネルの [MOD] ボタンと同じはたらきをします。
	d 1 F b P H (DDL 1 Feedback Phase)	DDL 1 FEEDBACK PHASE をオン／オフします。
	d 2 F b P H (DDL 2 Feedback Phase)	DDL 2 ※トップ・パネルの [FEEDBACK PHASE] ボタンと同じはたらきをします。
	d 1 L E U (Direct Level)	ダイレクト・レベルを調節します。
	F U o L S H (Foot Volume Switch)	フット・ボリュームをオン／オフします。
	P d L P o S (Pedal Position)	ペダル・ポジション
A L T G (Assign 1 Min) : A B T G (Assign 8 Min)		可変範囲はパラメーターによって異なります。パラメーターの可変範囲の下限値を設定します。
A L T G (Assign 1 Max) : A B T G (Assign 8 Max)		可変範囲はパラメーターによって異なります。パラメーターの可変範囲の上限値を設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
A L A C L (Assign 1 ACT Low) : A B A C L (Assign 8 ACT Low)	0 ~ 126	ソースの操作範囲の中でターゲット・パラメーターをコントロールする範囲を設定できます。
A L A C H (Assign 1 ACT High) : A B A C H (Assign 8 ACT High)	1 ~ 127	ACT LOW、ACT HIGH で設定した範囲内で、ターゲット・パラメーターをコントロールします。通常は ACT LOW を 0 に、ACT HIGH を 127 にしてください。

GA-FC の接続

注意

- GA-FC をお使いになるときは、GA-FC を接続する前に GAFC SW をオンにしてください。先に接続すると、正しく動作しないことがあります。
- GA-FC は、システム設定のみに対応しています。メモリーごと設定することはできません。



GA-FC 端子にステレオ・ケーブルで接続します。

GA-FC を使うときは GAFC SW をオンにしてください。

※ 本機はフット・コントローラーに対応しています。接続するときは、必ずステレオ・ケーブルを使用してください。

※ 抵抗の入っていないケーブルを使用してください。

対応フット・コントローラー

別売：GA-FC、GA-FC EX

メモ

GA-FC および GA-FC EX の詳しい使いかたについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。

また、GA-FC EX の 2 台目を拡張するリンク機能には対応していません。

外部コントローラーを設定する

GAFC SW をオンにする

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「GA-FC」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [DEPTH] ボタンで「GAFC.SW」 (GA-FC Switch) を「on」にします。



注意

外部ペダル CTL4, 5/EXP2 を使う場合には GA-FC を「OFF」にしてください。

4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

GA-FC の設定 (GA-FC)

GA-FC をお使いになるときは、GA-FC を接続する前に GAFC SW をオンにしてください。先に接続すると、正しく動作しないことがあります。

→ 「GAFC SW をオンにする」 (P.28)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「GA-FC」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

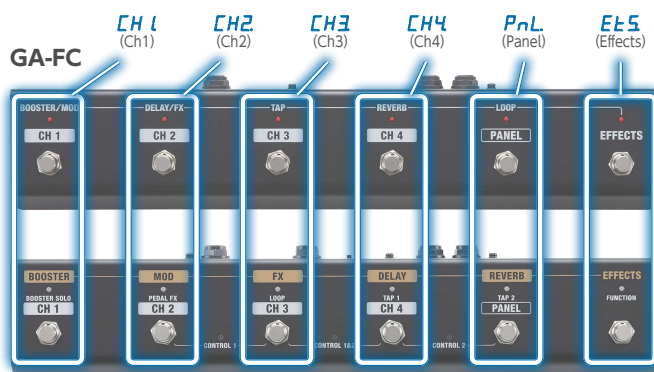


3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

GA-FC パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
GAFC.SW (GA-FC Switch)	OFF (off)	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子で GAFC を使用しません。
	on (on)	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子で GAFC を使用します。

GA-FC のスイッチ



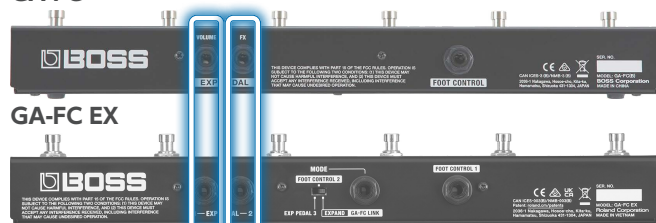
GA-FC EX

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
CH1Fn (Ch1 Func) : CH4Fn (Ch4 Func) PNL.Fn (Panel Func) ETS.Fn (Effects Func)	OFF (off)	GA-FC は使用しません。
	BPM.TAP (BPM Tap)	BPM
	d12LAP (DDL 1/DDL 2 Tap)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d1LAP (DDL 1 Lch Tap)	DDL 1 の L チャンネル
	d1RAP (DDL 1 Rch Tap)	DDL 1 の R チャンネル
	d2LAP (DDL 2 Lch Tap)	DDL 2 の L チャンネル
	d2RAP (DDL 2 Rch Tap)	DDL 2 の R チャンネル
	d125H (DDL 1/DDL 2 Switch)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d15H (DDL 1 Switch)	DDL 1
	d25H (DDL 2 Switch)	DDL 2
	d12HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d1HLd (DDL 1 Hold)	DDL 1
	d2HLd (DDL 2 Hold)	DDL 2
	d12MoN (DDL 1/DDL 2 MOMENT)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d1MoN (DDL 1 MOMENT)	DDL 1
	d2MoN (DDL 2 MOMENT)	DDL 2
	bYPASS (Bypass)	バイパスをオン/オフします。 オンのときは、入力された音をそのまま出力します。 → 「Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)」 (P.30)
	MEMUP (Memory up)	次のメモリーに切り替えます。
	MEMDN (Memory down)	1 つ前のメモリーに切り替えます。
	MEMNUM (Memory Number)	CH1num ~ CH4num、PNLnum、ETSnum で設定したメモリーを選びます。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
CH1d HLD (CH1 DDL 1 Hold) :	0 ~ 120	Hold レベルを設定します。
CH4d HLD (CH4 DDL 1 Hold)		
Paneld HLD (Panel DDL 1 Hold)		
Effectsd HLD (Effects DDL 1 Hold) :		
Effectsd2HLD (Effects DDL 2 Hold)		
CH1num (CH1 Number) :	A01 ~ C92	GA-FC のスイッチごとに呼び出すメモリー・ナンバーを設定します。
CH4num (CH1 Number)		
Panelnum (Panel Number)		
Effectnum (Effects Number)		
CH1Mod (CH1 Mode) :	TOGGLE (Toggle)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。
CH4Mod (CH4 Mode)		
PanelMod (Panel Mode)		
EffectsMod (Effects Mode)		
CH1Mod (CH1 Mode) :	MOMENT (Moment)	スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。
CH4Mod (CH4 Mode)		
PanelMod (Panel Mode)		
EffectsMod (Effects Mode)		

GA-FC のペダル端子

GA-FC

E1FC
(Exp1 Func)E2FC
(Exp2 Func)

EXP ペダルの機能を設定します。

E1SWF
(E1 Switch Func)E2SWF
(E2 Switch Func)

フットスイッチの機能を設定します。

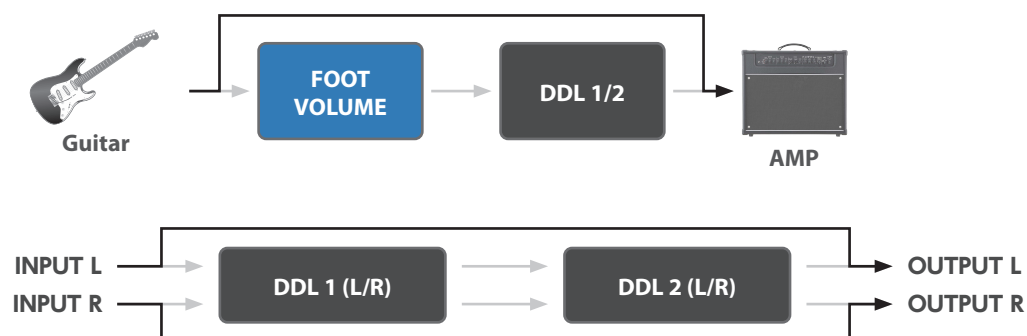
パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
E1FC (Exp1 Func) E2FC (Exp2 Func)	OFF (off)	GA-FC に接続した EXP 1、EXP 2 ペダルは使用しません。
	FV (Foot Volume)	フット・ボリュームの音量 (Pedal Position) を調節します。
	d1L (DDL 1 Time Lch)	DDL 1 の L チャンネル
	d1R (DDL 1 Time Rch)	DDL 1 の R チャンネル
	d2L (DDL 2 Time Lch)	DDL 2 の L チャンネル
	d2R (DDL 2 Time Rch)	DDL 2 の R チャンネル
	d1FB (DDL 1 Feedback)	DDL 1
	d2FB (DDL 2 Feedback)	DDL 2
	d1Out (DDL 1 Out)	DDL 1
	d2Out (DDL 2 Out)	DDL 2
	d1Mod (DDL 1 Modulation Rate)	DDL 1
	d2Mod (DDL 2 Modulation Rate)	DDL 2
	d1Depth (DDL 1 Modulation Depth)	DDL 1
	d2Depth (DDL 2 Modulation Depth)	DDL 2
E1Min (Exp1 Min) E2Min (Exp2 Min)	d1LUL (Direct Level)	ダイレクト・レベルを調節します。
E1Max (Exp1 Max) E2Max (Exp2 Max)		GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最小値を設定します。
		GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最大値を設定します。

外部コントローラーを設定する

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
	OFF (off)	GA-FC は使用しません。
	BPM Tap (BPM Tap)	BPM
	d 12tAP (DDL 1/DDL 2 Tap)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 1LtAP (DDL 1 Lch Tap)	DDL 1 の L チャンネル
	d 1RtAP (DDL 1 Rch Tap)	DDL 1 の R チャンネル
	d 2LtAP (DDL 2 Lch Tap)	DDL 2 の L チャンネル
	d 2RtAP (DDL 2 Rch Tap)	DDL 2 の R チャンネル
	d 125H (DDL 1/DDL 2 Switch)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 15H (DDL 1 Switch)	DDL 1
	d 25H (DDL 2 Switch)	DDL 2
E 15HF (E1 Switch Func) E 25HF (E2 Switch Func)	d 12HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 1HoLd (DDL 1 Hold)	DDL 1
	d 2HoLd (DDL 2 Hold)	DDL 2
	d 12MoN (DDL 1/DDL 2 MOMENT)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 1MoN (DDL 1 MOMENT)	DDL 1
	d 2MoN (DDL 2 MOMENT)	DDL 2
	bYPASS (Bypass)	バイパスをオン/オフします。 オンのときは、入力された音をそのまま出力します。
	MEUp (Memory up)	次のメモリーに切り替えます。
	MEdn (Memory down)	1 つ前のメモリーに切り替えます。
	MENum (Memory Number)	メモリー番号を設定します。
E 15Hd 1HL (E1 Switch DDL 1 Hold Level) E 15Hd 2HL (E1 Switch DDL 2 Hold Level) E 25Hd 1HL (E2 Switch DDL 1 Hold Level) E 25Hd 2HL (E2 Switch DDL 2 Hold Level)	0 ~ 120	Hold レベルを設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
E 15Hn (E1 Switch Mode) E 25Hn (E2 Switch Mode)	toGGLE (Toggle)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。
	MoMEnt (Moment)	スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。
E 15Hnum (E1 Switch Number) E 25Hnum (E2 Switch Number)	AD 1 ~ C92	E 15HF 、 E 25HF が MENum のときは、E1、E2 スイッチで呼び出すメモリー・ナンバーを設定します。 A1 ~ A4、B1 ~ B4、C1 ~ C92

Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)



外部 MIDI 機器を接続する

外部機器と接続する

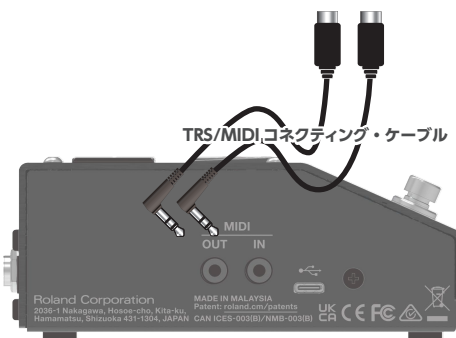
外部機器と MIDI 接続すると、MIDI メッセージのやりとりやクロックの同期ができるようになります。

MIDI (OUT/IN) 端子

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。

別売: **TRS/MIDI コネクティング・ケーブル**

BMIDI-5-35、BMIDI-1-35 または BMIDI-2-35



本機では、MIDI を使って次の操作をすることができます。

本機からの操作

操作	説明
プログラム・チェンジ情報の出力	本機でメモリーを選ぶと同時に、MIDI PC MAP (P.33) で設定したプログラム・チェンジ情報が送信されます。外部 MIDI 機器は受信したプログラム・チェンジ情報に対応したセッティングに切り替わります。
コントロール・チェンジ情報の出力	[CTL1] スイッチや、CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力します。外部 MIDI 機器のパラメーター操作などに利用できます。

外部 MIDI 機器からの操作

操作	説明
メモリー・ナンバーの切り替え	外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報に対応して、本機のメモリーが同時に切り替わります。本機は Bank Select を受信しても無視します。
コントロール・チェンジ情報の受信	コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。

MIDI の設定 (MIDI)

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで「MIDI」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

MIDI パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
rx CH (Rx Channel)	OFF (off) CH 1 ~ CH 16 (CH.1 ~ CH.16)	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、チャンネル・メッセージを受信しません。
tx CH (Tx Channel)	OFF (off) CH 1 ~ CH 16 (CH.1 ~ CH.16) rx (Rx)	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、チャンネル・メッセージを送信しません。 「rx」に設定すると受信チャンネルと同じチャンネルになります。
PC in (PC IN)	OFF (off) ON (on)	プログラム・チェンジを受信するか (on) しないか (OFF) を設定します。
PC out (PC OUT)	OFF (off) ON (on)	プログラム・チェンジを送信するか (on) しないか (OFF) を設定します。
CC in (CC IN)	OFF (off) ON (on)	コントロール・チェンジを受信するか (on) しないか (OFF) を設定します。 CC を受信すると、つまみやフットスイッチと同じ操作を MIDI でコントロールできるようになります。
CC out (CC OUT)	OFF (off) ON (on)	コントロール・チェンジを送信するか (on) しないか (OFF) を設定します。
ddl MEL (DDL 1 Time L) ddl MER (DDL 1 Time R) ddl MEL (DDL 2 Time L) ddl MER (DDL 2 Time R)		
ddl FB L (DDL 1 Feedback) ddl FB R (DDL 2 Feedback)	OFF (off) cc01 ~ cc31 (CC01 ~ CC31) cc64 ~ cc95 (CC64 ~ CC95)	各操作子に対応するコントロール・ナンバーを設定します。
ddl out (DDL 1 Out) ddl out (DDL 2 Out)		
ddl rate (DDL 1 Modulation Rate) ddl rate (DDL 2 Modulation Rate)		
ddl depth (DDL 1 Modulation Depth) ddl depth (DDL 2 Modulation Depth)		

外部 MIDI 機器を接続する

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>d lFt on</i> (DDL 1 Filter on) <i>d2Ft on</i> (DDL 2 Filter on)		
<i>d lTn on</i> (DDL 1 Time on) <i>d2Tn on</i> (DDL 2 Time on)		
<i>d lPH on</i> (DDL 1 Phase on) <i>d2PH on</i> (DDL 2 Phase on)		
<i>d lNd on</i> (DDL 1 Mod on) <i>d2Nd on</i> (DDL 2 Mod on)		
<i>d lFP on</i> (DDL 1 Feedback Phase on) <i>d2FP on</i> (DDL 2 Feedback Phase on)		
<i>d l2tAP</i> (DDL 1/DDL 2 Tap) <i>d lL2tAP</i> (DDL 1 Lch Tap) <i>d l.r2tAP</i> (DDL 1 Rch Tap) <i>d2L2tAP</i> (DDL 2 Lch Tap) <i>d2.r2tAP</i> (DDL 2 Rch Tap)	oFF (off)	
<i>d lHoLd</i> (DDL 1 Hold) <i>d2HoLd</i> (DDL 2 Hold)	cc01 ~ cc31 , (CC01 ~ CC31) cc64 ~ cc95 (CC64 ~ CC95)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
<i>d lNon</i> (DDL 1 Moment) <i>d2Non</i> (DDL 2 Moment)		
<i>FuPLPos</i> (Foot Volume Pedal Position)		
<i>d irLEUL</i> (Direct Level)		
<i>CTL1</i> (Control 1) <i>CTL2</i> (Control 2) <i>CTL3</i> (Control 3) <i>CTL4</i> (Control 4) <i>CTL5</i> (Control 5)		
<i>E1P1</i> (Exp 1) <i>E1P2</i> (Exp 2)		
<i>bYPASS</i> (Bypass)		
<i>d lSH</i> (DDL 1 Switch) <i>d2SH</i> (DDL 2 Switch)		

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>SYnC</i> (Sync)	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。 動作保証範囲：40 ~ 250 BPM	
	Int (Internal)	内蔵テンポに同期します。
	u5b (USB)	USB 端子から入力される MIDI クロックに同期します。
	MIdI (MIDI)	MIDI IN 端子から入力される MIDI クロックに同期します。
	Auto (Auto)	通常は内蔵テンポで動作しますが、USB 端子や MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 ※ USB と MIDI の両方から入力された場合は、USB が優先されます。
<i>rtMSrC</i> (Real Time Message Source)	MIDI OUT 端子や USB 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。	
	Int (Internal)	内蔵リアルタイム・メッセージをソースにします。
	u5b (USB)	USB 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
	MIdI (MIDI)	MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
<i>MIdI tHru</i> (MIDI Thru)	MIDI IN 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。	
	oFF (off)	送信しません。
	u5b (USB)	USB 端子から送信します。
	MIdI (MIDI)	MIDI OUT 端子から送信します。
	u5b (USB, MIDI)	USB 端子と MIDI OUT 端子から送信します。
<i>u5b tHru</i> (USB Thru)	USB 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。	
	oFF (off)	送信しません。
	u5b (USB)	USB 端子から送信します。
	MIdI (MIDI)	MIDI OUT 端子から送信します。
	u5b (USB, MIDI)	USB 端子と MIDI OUT 端子から送信します。
<i>dEU ICE id</i> (Device ID)	17 ~ 32	システム・エクススクレーシブ・メッセージを送受信するときに使用するデバイス ID を設定します。

プログラム・チェンジとメモリーの対応を設定する

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報でメモリーに切り替えるときに、SDE-3000D が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わるメモリーの対応を「プログラム・チェンジ・マップ」で自由に設定することができます。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで「P.C. MAP」を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでプログラム・ナンバーを選び、 [DEPTH] ボタンでメモリー番号を設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
P.C. 001 ~ P.C. 128	A01 ~ C92	プログラム・ナンバーに対応するメモリー番号を設定します。

パソコンに接続する

USB 端子を利用する (USB Type-C®)

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

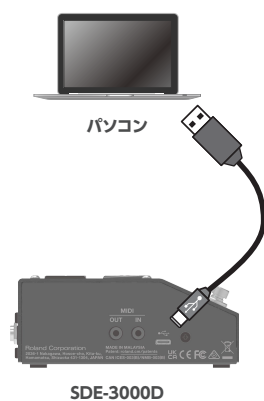
USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーをインストールしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

パソコンに接続する

1. USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。



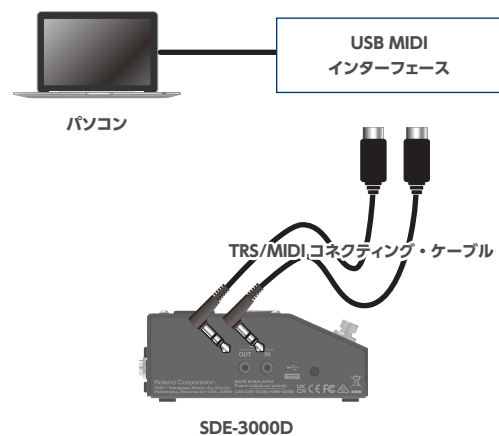
注意

USB ケーブルが抜けるとエラー・メッセージが表示されます。



サイド・パネルの MIDI 端子を利用する

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは、TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。



別売:

TRS/TRS コネクティング・ケーブル
BCC-1-3535、BCC-2-3535

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル
BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35

注意

MIDI IN の接続が切れるとエラー・メッセージが表示されます。



本機の MIDI IN に接続している MIDI ケーブルに異常はないか、また MIDI ケーブルが抜けていないか確認してください。

システム設定をする

フット・ペダルで選べるメモリーの範囲を設定する (メモリー・エクステント)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「*SYStEm*」を選び、[SETUP] ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>MEMMin</i> (Memory Min) <i>MEMMax</i> (Memory Max)	<i>RD 1 ~ C.92</i>	フット・ペダルで選べるメモリーの範囲を設定します。

例

バンク	A				B				C			
メモリー	1	...	4		1	...	4		1	...	92	

ペダル操作で選べるメモリーの範囲 (A.01 ~ C.01)

メモリーを切り替えたときに EXP ペダルの設定値を引き継ぐ (EXP ホールド)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「*SYStEm*」を選び、[SETUP] ボタンを押します。



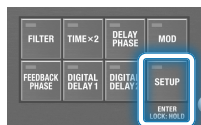
3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>EHP1PLHd</i> (EXP 1 Pedal Hold) <i>EHP2PLHd</i> (EXP 2 Pedal Hold)	<i>oFF</i>	メモリーを切り替えたとき、 <i>ELFnC</i> 、 <i>E2FnC</i> の操作状態は反映されません。
	<i>on</i>	メモリーを切り替えたとき、 <i>ELFnC</i> 、 <i>E2FnC</i> が切り替え前のメモリーと同じ場合は、その操作状態が反映されます。たとえば切り替え前と後のメモリーで EXP PEDAL FUNCTION が共に FOOT VOLUME の場合は、切り替え時のペダルの位置 (傾き) での音量が、メモリー切り替え後も維持されます。ここで切り替え後のメモリーが WAH に設定されている場合は、音量はメモリーに設定されている値となり、ワウ効果が現在のペダルの位置 (傾き) を反映した値で得られます。

工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）

SDE-3000D を工場出荷時の設定に戻します。

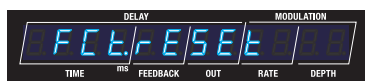
1. [SETUP] ボタンを押します。



ディスプレイに設定項目が表示されます。



2. [TIME] ボタンで「FCLrESEt」を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンと [DEPTH] ボタンで、ファクトリー・リセットの対象（範囲）を選びます。

中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、メニューに戻ります。

対象	説明
545	システム設定
A.01 ~ A.04	バンク A の 1 ~ 4
b.01 ~ b.04	バンク B の 1 ~ 4
C.01 ~ C.92	バンク C の 1 ~ 92

メモ

すべてリセットする場合は「545 - C.92」を選びます。

5. [BANK A] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



「SURE」表示が点滅します。

6. [BANK A] ボタンを押して、ファクトリー・リセットを実行します。

ファクトリー・リセットが完了すると、プレイ画面に戻ります。

主な仕様

サンプリング周波数	48kHz
AD 変換	24 ビット +AF 方式 ※ AF 方式(Adaptive Focus method)は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA 変換	32 ビット
内部演算	32 ビット浮動小数点
エフェクト・タイプ	SDE-3000 STEREO DELAY × 2 フット・ボリューム
メモリー	100
規定入力レベル	INPUT L/MONO 端子: -10dBu INPUT R 端子: -10dBu
最大入力レベル	INPUT L/MONO 端子: +12dBu INPUT R 端子: +12dBu
入力インピーダンス	INPUT L/MONO 端子: 1M Ω INPUT R 端子: 1M Ω
規定出力レベル	OUTPUT L/MONO 端子: -10dBu OUTPUT R 端子: -10dBu
出力インピーダンス	OUTPUT L/MONO 端子: 1k Ω OUTPUT R 端子: 1k Ω
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT L/MONO 端子: 10k Ω以上 OUTPUT R 端子: 10k Ω以上
コントロール	[TIME] ボタン [FEEDBACK] ボタン [OUT] ボタン [RATE] ボタン [DEPTH] ボタン [1] ~ [4] ボタン [BANK A] ボタン [BANK B] ボタン [◀] ボタン [▶] ボタン [FILTER] ボタン [TIME × 2] ボタン [DELAY PHASE] ボタン [MOD] ボタン [FEEDBACK PHASE] ボタン [DIGITAL DELAY1] ボタン [DIGITAL DELAY2] ボタン [SETUP] ボタン [DDL 1] スイッチ [DDL 2] スイッチ [TAP/CTL1] スイッチ

ディスプレイ	7 セグメント 12 桁 LED
接続端子	INPUT L/MONO 端子: 標準タイプ INPUT R 端子: 標準タイプ OUTPUT L/MONO 端子: 標準タイプ OUTPUT R 端子: 標準タイプ CTL2, 3/EXP1 端子: TRS 標準タイプ CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子: TRS 標準タイプ MIDI (IN, OUT) 端子: ステレオ・ミニ・タイプ USB COMPUTER 端子: USB Type-C® DC IN 端子
電源	AC アダプター
消費電流	450mA
外形寸法	199 (幅) × 135 (奥行) × 54 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量 (AC アダプターを除く)	1.1kg
付属品	AC アダプター (PSB-1U + 電源コード) スタートアップ・ガイド 「安全上のご注意」チラシ ゴム足 × 4 保証書
別売品	フットスイッチ: FS-5U、FS-5L デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル: Roland EV-5、EV-30、FV-500L、FV-500H フット・コントローラー: GA-FC、GA-FC EX TRS/MIDI コネクティング・ケーブル: BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

プリセット・リスト

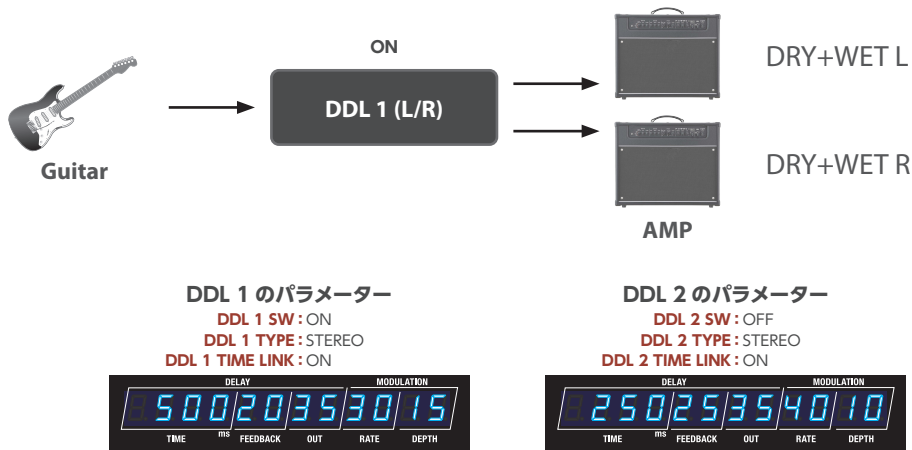
A.01

スタンダードなディレイセッティングです。

DDL 1 は 500msec、DDL 2 は 250msec のショート・ディレイです。

2 つのディレイを直列に接続して組み合わせることで、奥行き感のあるディレイを実現しています。

STRUCTURE : SERI

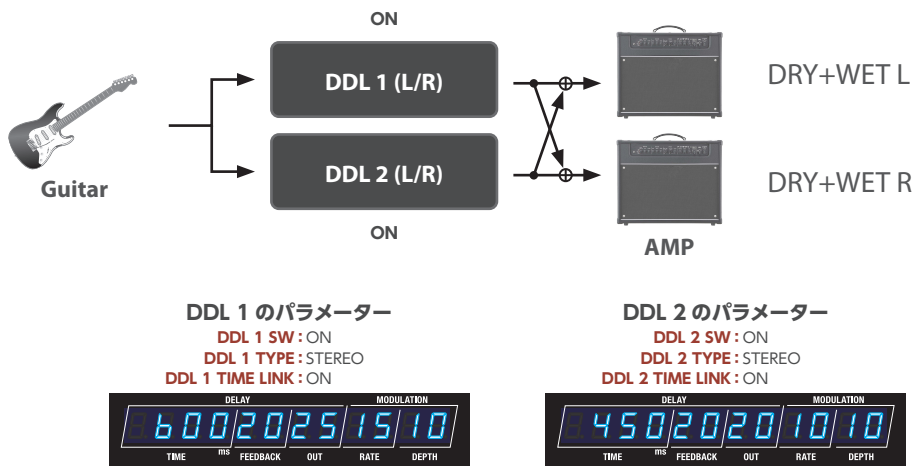


A.02

並列接続による付点 8 分音符のディレイ・サウンドです。

DDL 1 は 600msec、DDL 2 は 450msec にセッティングされています。

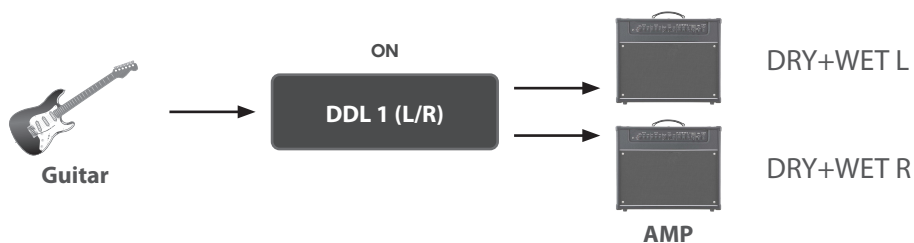
STRUCTURE : PARA1



A.03

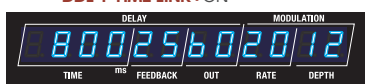
DDL 1 は 800msec のロング・ディレイ、DDL 2 は 400msec のミディアム・ディレイです。
DDL 2 をオンにすると幻想的なロング・ディレイになります。

STRUCTURE : SERI



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



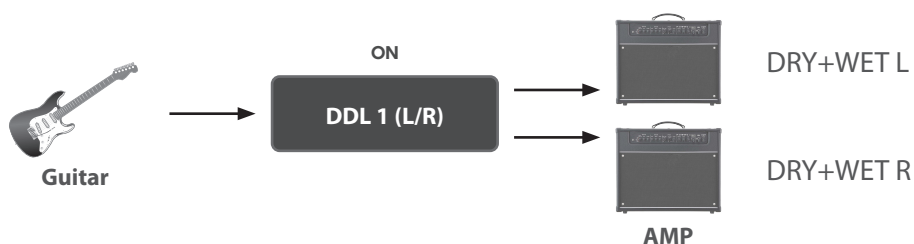
DDL 2 のパラメーター

DDL 2 SW : OFF
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON

**A.04**

DDL 1 は 220msec、DDL 2 は 660msec を直列に接続したディレイです。

STRUCTURE : SERI



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



DDL 2 のパラメーター

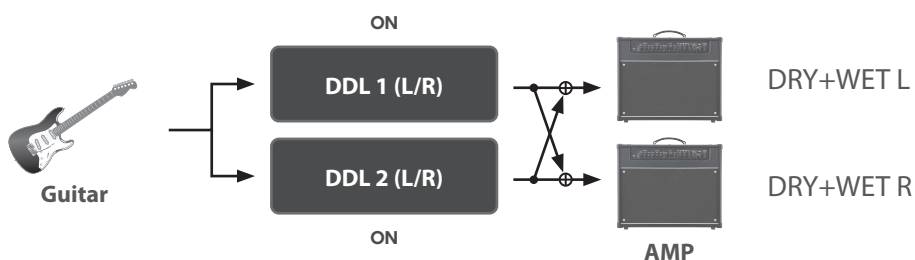
DDL 2 SW : ON
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON



B.01

DDL 1 はモジュレーション・ディレイ (500msec)、DDL 2 はショート・ディレイ (250msec) を並列に接続したサウンドです。

STRUCTURE : PARA1



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



DDL 2 のパラメーター

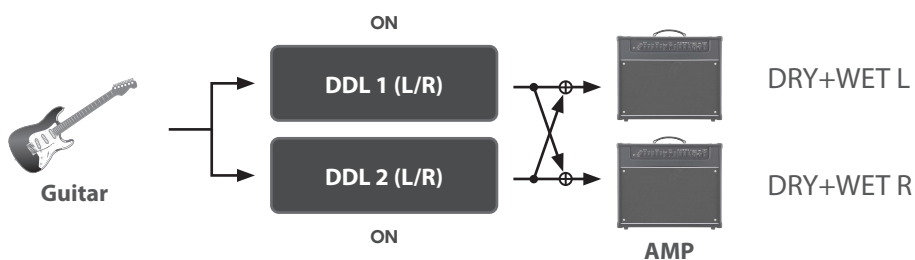
DDL 2 SW : ON
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON



B.02

DDL 1 は 550msec、DDL 2 は 225msec の 2 つのモジュレーション・ディレイを並列に接続したサウンドです。

STRUCTURE : PARA1



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



DDL 2 のパラメーター

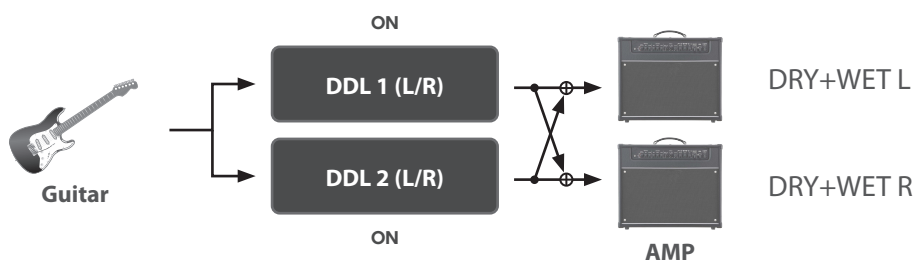
DDL 2 SW : ON
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON



B.03

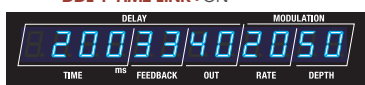
フィルターとモジュレーションを組み合わせたディレイ・サウンドです。

STRUCTURE : PARA1



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



DDL 2 のパラメーター

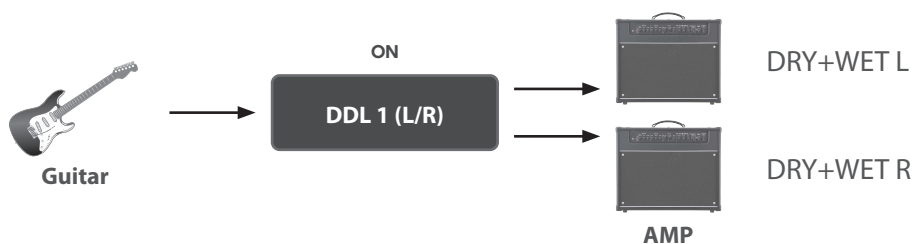
DDL 2 SW : ON
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON



B.04

DDL 1 のディレイ (530msec) に DDL 2 のディレイ (35msec) を加えたショート・リバース・サウンドです。

STRUCTURE : SERI



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



DDL 2 のパラメーター

DDL 2 SW : ON
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIME LINK : ON

